



# Rotary Club of SUGITO

## 杉戸ロータリークラブ週報

2006～2007年度 RI のテーマ

### Lead the way

会長 仁部前明 幹事 下津谷忠男 会報委員長 田中昌夫

#### 第1869回例会(2007年4月17日)

##### 点鐘

仁部会長

##### ロータリーソング

それでこそロータリー

##### 会長挨拶

仁部会長



4月13日(金)午前10時20分～午後5時まで、大宮ソニックシティで第2770地区の地区協議会が開催され行って来ました。出席された方々は大変ご苦労様でした。CLPが導入される中村ガバナー年度は、軌道に乗るまでは容易ではないなというのが感想です。後ほどの報告を楽しみにして下さい。

#### 《腹の底から笑うことがありますか?》

「あっはっはっはっはっはっ……」一日に何回笑いますか。私の生活を振り返ってみると笑わない日の方が多いと思いますが……。腹の底から笑った後の快感を思い起こして下さい。今日は毎日の生活が忙しくストレスのたまる機会が多いのは確かです。この解消にすすめるのが「腹の底から笑う」ことです。「笑いは人の薬」という諺があります。適度な笑いは心身ともに健康によいことを言っています。アニマル浜口さん(元プロレスラー、スポーツジムを浅草に開設。長女・浜口京子をアマチアレ

スリングの世界チャンピオンに育て上げた父親、言葉はもちろんのこと自らも率先垂範)が「気合だ!」に続く新パフォーマンスの「笑いジャンケン」は、「ワッハッハ」と大笑いしながら右手と左手でジャンケンを繰り返してのゲーム。彼は言う「死ぬ気で練習しているが、緊張しっぱなしはダメ」と気分転換もかねた笑いの大切さを提唱して練習後に1分間このジャンケンをやっているとのこと。

\* 笑う顔に矢立たず

\* 拳笑顔に当たらず

笑顔人と接する者に射かけられない。笑顔は相手の心を和らげ、憎しみを持っても自然に打ち解けるような力がある。

\* 笑う門には福来る

いつも笑い声が絶えない家には幸福が向こうからやってくるものだ。

\* 笑って暮らすも一生 泣いて暮らすも一生 どちらも同じ一生ならば、笑って楽しく暮らしたいものということ

\* 笑って太れ

いつも笑顔を絶やさないようにして幸運を招き寄せなさいということ

#### 幹事報告

下津谷幹事

① 米山記念奨学生(入学式)のご案内

日時 平成19年5月12日(土) 16:00

会場 大宮 ラフォーレ清水園

登録料 一人 6,000円

② 戸田イブニングロータリークラブより認証状伝達式のご案内がきております。

例会日: 火曜日 12:30～13:30 例会場: 埼玉りそな銀行杉戸支店 3F

事務所: 杉戸町杉戸 2-12-26 埼玉りそな銀行杉戸支店内

TEL 0480-34-1716 FAX 0480-34-1360

日時 5月24日(木)午後6:00

場所 浦和ロイヤルパインズホテル

登録料 一人 20,000円

- ③ 地区大会で京都物産展を催すことになりましたとのご案内がきております。

## 地区協議会の報告

田中会員



皆様こんにちは、先日は一日地区協議会にて大変ご苦勞様でした。

それでは地区協

議会のご報告を致します。会議は第1回本会議・分代会・第2回本会議と3会議に分かれて行われ、第1回本会議では、中村がバナーエクトの点鐘で始まりました。

- ・ 名倉地区協議会実行委員長より開会の言葉として、次期クラブ指導者の方々に中村がバナー年度の基本方針の確認と、各自の「役割と責任」「奉仕の機会と手続き」について理解を深めて「安心」して、クラブ運営をしていただくための大変重要な協議会であるにご挨拶がありました。
- ・ 根本ホストクラブ会長より歓迎の言葉として、飯野年度より採用されたCLP(クラブリーダーシッププラン)を中村年度に本格的に採用、実施する年度でございます。CLPの内容を踏まえクラブの会員増強と活性化を図り、今日の地区協議会で協議したことをクラブに持ち帰り、皆様に報告して頂きたいとご挨拶がありました。
- ・ 中村がバナーエクトより地区役員のご紹介がありました。
- ・ 飯野がバナーより2007-08年度のRIテーマは「ローターは分かちあいの心」ですが、この精神は奉仕活動の原点を表現したものと考えられますが、ローターの在り方などには直接応えるものではなく、「ローターは分かちあいの心」の実践活動の中から価値観の多様化した社会での社会奉仕団体の存在感を見極め、

高めようとするものとご挨拶がありました。

- ・ 次年度研修リーダーより次年度の地区組織表を見た30年余りのローター歴をもつ会員から“ローター維新”だネとの感想を聞いた。10年前に誰もが会員が減少し、出席率が低下し、世界平和奨学制度が加わり、派遣両留學生に危険管理委員会を地区に設置し、保険をかけて管理しなければならない時代を予測できたであろうか。確かに時代は変わった、世界は変わった、ローターもその中に存在していることを認識せざるを得ない。だからこそ、地区もクラブも計画や目標をもつことが重要になるとご挨拶がありました。
- ・ 中村がバナーエクトより親愛なるロータリアンの皆様へ2007~2008年度、地区ロータークラブの会長、幹事さんをはじめ、各委員長の皆様、そして、がバナー補佐をはじめとする地区チームの皆様、地区協議会に早朝よりご出席頂き心から感謝申し上げます。

この次期、地区行議会を開催する目的は

1. 次期クラブ指導者が来るべき任務に備えて準備を整え、指導者チームを築くこと。
2. クラブ指導者チームの意欲を高め、協力関係を築くため機会を地区がバナーエクトと次期がバナー補佐、および地区委員に提供すること。
3. 次年度地区がバナーがRIテーマと強調事項を伝え、各クラブがこれをプログラムに組み入れるよう要望すること。
4. 各クラブの役員の役割と責務に相応した指導力と管理能力を育成すること。
5. 次年度地区がバナーは、会長をリーダーとするクラブ指導者が奉仕プロジェクト事業を実践、成功させるために地区チームの活動方針を明確に伝えること。以上が主な目的です。

2007~08年度、RI会長ウィルフリッド・J. ウィルキン氏は「ROTARY SHARES」「ローターは分かちあいの心」をRIテーマとして掲げられました。「ロータリアンである私達は奉仕する心、その愛を実践し、分かちあい、互いに助けあうのです」とのべて

おられます。クラブ指導者として皆様がこれまでに培ってきたローターの「奉仕の心」をあらゆる機会を通じて「ローター家族」に分ちあってください。

当地区は 2007～08 年度、クラブリーダーシッププランを導入します。この CLP の要点はクラブ組織を簡素化すると共に、クラブ活動を機能的に捉え、「効果的なクラブ」をめざしてクラブをより高いレベルに押し上げ、クラブの多様性を促す管理組織であります。

このことは「効果的なクラブづくり」を目的とする組織の変更であり、ローターの目的が変るものではありません。

「ローターの綱領」に基づく 4 代奉仕を根本的に変えようというものではありません。むしろ「ローターの綱領」に従って、クラブ奉仕活動を強化し、大小クラブの規模やクラブの考えに応じて、奉仕活動を機能化し、効率的に選択出来るようにしようと考えられたものです。

この事は、ローターの基本単位はクラブであるという原点に還り、各クラブの自主性を尊重し、多種多様な活動を進め、クラブの個性化、即ち、特徴のあるクラブの出現を期待しているものであります。結論として、クラブリーダーシッププランは、クラブの多様性、そして個性のあるクラブを理解し、尊重するとした概念こそが CLP の基本理念でもあると言えます。また、継続性を重視しながらも毎年見直すことも大切な要素であります。

クラブチームの皆様、1 年間クラブ指導者として、是非、ご理解とご協力をお願いしますとご挨拶がありました。

つづきまして分科会での基調スピーチの一部をご報告いたします。

\*会長部会では、飯野がバナーよりクラブの盛衰は歴代会長の目標意識とその手腕に懸かっていますし、その結果が今日のクラブの現状であります。自分の会社が自分という社長ないしはそれに代わる専務なりの社会的信望と経営手腕で今日を迎えているのと同じです。ロータークラブも会社も生き物です。社会から生きていくための環境を与えられ、食事などを与えられて清々存在し続けられるということになって

います。組織の長には、幾つかのパターンに分けられ悪いパターンですとクラブの将来は暗澹たるものである。

\*幹事部会では、鯨岡地区幹事よりクラブの最高責任者であります会長と、常に綿密な連絡を取り合い、情報を共有し、会長をサポートして、クラブ会員とのコミュニケーションを図ることが重要と思います。

\*管理運営部会では、飯野次期担当諮問委員より地区の部門は内容については異なりましたが例年通り 7 部門から構成されており、管理運営部門には「長期計画委員会」という下部組織を持つことになりました。管理運営部門の業務はクラブへの支援と他部門への支援、協力に整理されたのではないのでしょうか。

\*広報部会では、森田次期担当諮問委員よりローターは広報が下手だ！これは良く聞く言葉です。2005-06 年度から RI は強調事項の一つに公共的イメージを加え、第 2 世紀のローター活動全般に広報活動の強化推進を掲げてきています。ロータークラブの地域社会への献身的な奉仕活動と、その活動を効果的に広報する最大の目的は、「会員基盤の維持と増大」を図る橋頭堡を構築することにあります。

\*会員増強部会では、北次年度会員増強部門担当諮問委員より次年度はクラブ・リーダーシップ・プラン(CLP)の採用で組織改正がされました。会員増強委員会が部門として位置づけられ「会員増強委員会」と「レadies増強委員会」になりました。何故会員増強が必要なのか、女性会員を強調しているのはどんな理由か皆さんと一緒に理解を深め、会員増強を実践し成果を分かち合ひましょう。そして全てのローターアンが、新会員を連れてくる責務を分かち合い、ローター発展に対する責務を分かち合い全てのクラブをより充実した存続力の溢れる存在にしていきましょう。

\*奉仕プロジェクト部会では、田村次年度奉仕プロジェクト外部部門担当諮問委員より地区組織も CLP に対応することになり、地区チーム内に於いても、最大規模の奉仕プロジェクト部門 SERVICE PROJECT SECTION として発足を致しま

す。企業で行われるプロジェクトは、最大限の営利を目的として行う大規模な事業であることは、ご承知の通りです。我々ローターの各クラブにて行うプロジェクトは、最初に奉仕の冠がついております。従って各クラブの奉仕プロジェクトを行う委員会は常任委員会になり、地域社会・世界社会に最大限の奉仕事業を行うことが大前提になります。各クラブの特色を大事にして三つの奉仕活動 (THREE SERVICE ACTIONS) をリンクしましょう。ローターの知識を知恵に、共に実行して行きましょう！地区奉仕プロジェクト部門は、一体となって支援して参ります。

\* 新世代部会では、関口次年度新世代部門担当諮問委員よりローターは、1905年の創立以来、青少年のためには深い関心を示し、色々な活動に携って来ました。その目的は善良で、健全な次代の社会人を育成することにあります。「今どきの青少年」(今どきの新世代)を対象とした新たなプログラムが必要になるかもしれません。本地区も、CLPの本格的導入により、地区組織が大きく変わりました。これによってクラブと地区の整合性が出来ました。そして、よりクラブが上手く機能することを望みます。

\* ローター-財団部会では、津田次年度ローター-財団部門担当諮問委員より国際ローターの中でのローター-財団の位置づけとして、ある方は！社会的に考えるなら、製造部門、技術部門、経理部門、営業部門があるとすれば、営業部門に当たる。如何に仕事をもって来て金にするかです。国際ローターの経営戦略を実現するため、種々のプログラムがあります。そのプログラムを実行するのに必要な資金を調達するのが、我々部門の大きな目的でもあります。ローター-財団地区セミナーのハンドブックには「奉仕活動と資金調達は、車の両輪である」と述べております。世界から貧困や飢餓をなくし、世界平和に向け、活動していくためには、先ず資金が必要です。6人目 RI 会長アチクラフ氏は、ローターの永遠の発展を願い、そして不滅を信じ、次のように述べております。「我々は、この財団を今日、明日の時点ではなく、何年、何世代の尺度で見

つめるべきです。なぜなら、ローターは幾世紀にもわたる運動だからです。」

\* 米山記念奨学部会では、田中次期米山記念奨学会担当諮問より米山奨学会が設立されて以来、今まで 40 年になります。その間、数え切れない奨学生を支援してまいりました。そして、現在は、年間 800 名の奨学生を支援する国内最大の奨学制度となっています。奨学生との将来に向かっての対話や意見交換、奉仕活動を一緒に行い、感動を分かち合えるようにすることが大事だと考えます。同時に元奨学生が今どうしているかを知ることも重要だと思います。

つづきまして第 2 回本会議では、各分科会報告がリポーターより報告され、相澤ホストクラブ副会長より閉会の言葉で地区協議会が終了いたしました。以上で地区協議会のご報告とさせていただきます。

### 出席報告

大作委員長

出席免除 2名 休会 2名

月日	会員数	出席	欠席	MU	出席率
4/17	24	14	10	7	87%

### スマイル報告

大作委員長

仁部会長→町内が大変にぎやかです。腹の底から笑えるのはどなたでしょうかね。みんなガンバレです。

落合会員→今日から杉戸町長選挙運動が 5 日間ということになりました。4 名とも頑張ってください。そして、当選された方は町の為全力投球を頼みます。

中島会員→春にも係らず寒さまた来た。気候異変、健康に注意！

大作会員→アメリカは西部劇の国ですね。血が噴出し、肉が飛び散る、すごいアクションの国ですね。

下津谷幹事→地区協議会にご協力頂き、有難うございます。

以下同文→中村会員、庄司会員、細井会員、金子会員、本多会員、鈴木会員、田中会員、武井会員、新井会員

本日投入額	14,000円
累計額	754,000円